

砂防の歩みから考えるこれからの防災

定員
先着100名



講師

(一財)砂防・地すべり技術センター 審議役
三上 幸三 氏

講演要旨

我が国は、国土のおよそ7割を占める山地から様々な恵みを楽しみつつ、低平地中心に高度な土地利用が進み、豊かな社会生活が成り立っている。河川流域を見れば、上流域から下流域に水と土砂が運ばれ、様々な恩恵がもたらされる一方で、流送土砂による災害や弊害も発生する。加えて、土石流や地すべり、がけ崩れといった土砂災害は、年平均1,000件にも達し、人命・財産に甚大な被害をもたらしている。

土砂災害を防ぐための「砂防」が体系的に整理されたのは、淀川流域での取り組みにその原点があるとされる。その後、日本の砂防はハード・ソフト両面からの総合的な対策として進化・発展し、海外からも「SABO」として高く評価されている。

気候変動の影響もあり、自然災害が多発化傾向にある我が国において、これからの防災の進むべき方向を砂防の歩みを通して考えていく。

講師略歴

1964年島根県に生まれる。東京大学農学部卒業後、1988年建設省入省。最前線の直轄砂防工事現場等を担当する一方で、大阪府庁、広島県庁、鹿児島県庁において河川砂防分野を中心に地方行政に携わる。2023年7月、国土交通省水管理・国土保全局砂防部長を最後に退官。現在、(一財)砂防・地すべり技術センターに勤務。



講師：三上幸三 氏

日時

2023年12月18日(月) 14:30～16:30 ※会場受付開始 14時00分

会場

エル・おおさか 本館5F「視聴覚室」

会場詳細などは協会ホームページからもご覧いただけます。
お申込みは右のQRコードからGoogleフォームよりお申込みください。

申込受付フォーム



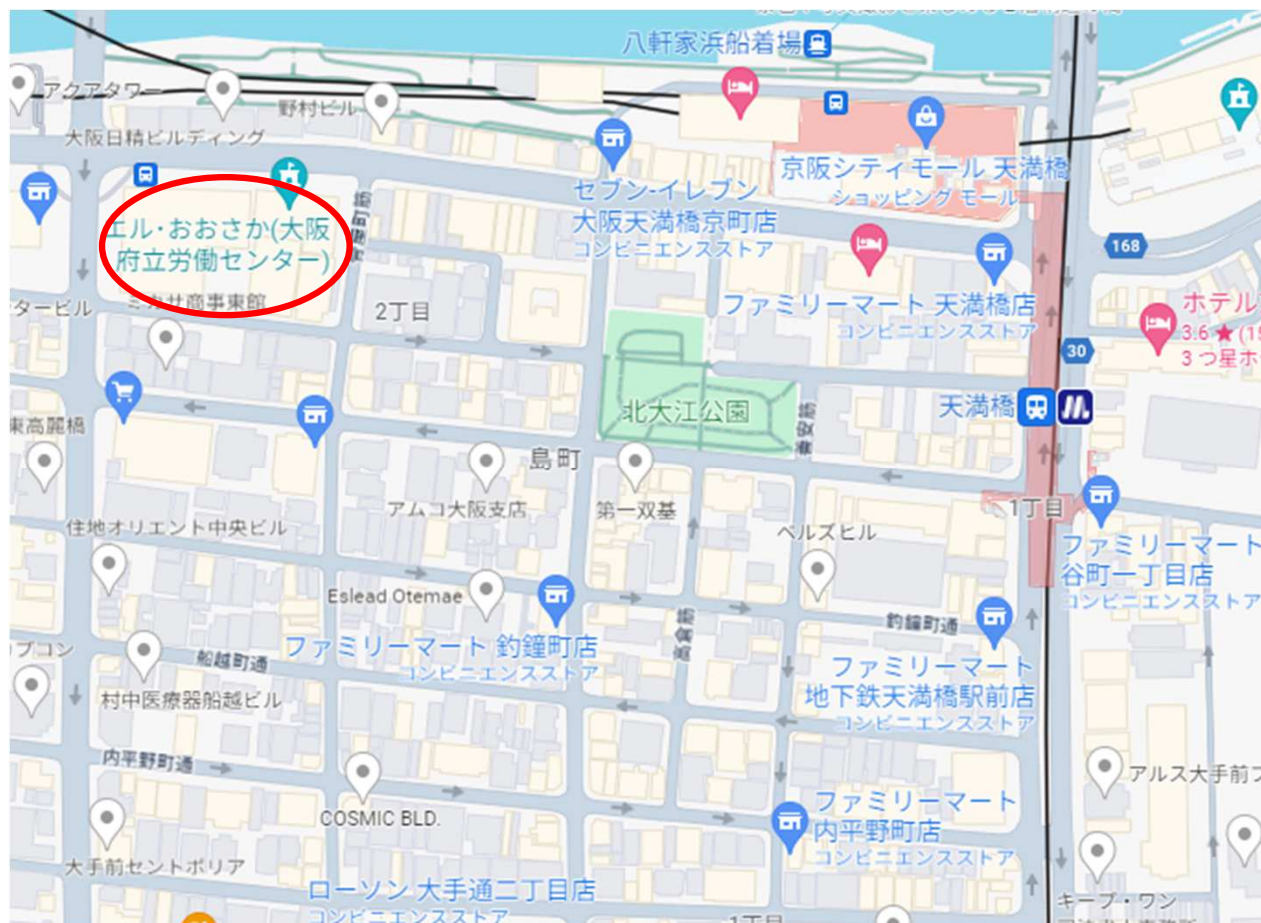
河川
基金

当講演会は、公益財団法人河川財団による
河川基金の助成を受けています

会場

エル・おおさか 本館5F「視聴覚室」

大阪府大阪市中央区北浜東3-14 「天満橋」から徒歩8分



申込方法

①氏名 ②(勤務先) ③E-mail アドレス ④電話番号 ⑤職種 (建設コンサルタント, 建設会社, その他民間企業, 行政, 財団/社団, NPO等川や水の活動団体, 学生, その他)

⑥二種正会員(個人会員)/一般の別を明記の上、右のグーグルフォームよりお申し込みください。

※ ②と④の記載は任意です。

【申込先】●日本河川協会「河川文化を語る会」事務局 ※ 問合せ先をご参照ください

E-mail: kataru@japanriver.or.jp

★右のQRコードを読み取って、受付フォームからお申し込みいただけます。

※ 定員(100名)になりしだい締め切らせていただきます。



申込受付フォーム

【ご参加の皆さまへ】

- ・お申込み後の参加票の送付等はありません。直接会場へお越しください。
- ・発熱のある方や軽度であっても咳、咽頭痛などの症状がある方はご参加をお控えください。

問合せ先



公益社団法人 日本河川協会 (担当:百武、小島、志賀)

東京都千代田区麴町2-6-5 麴町E.C.Kビル3F
TEL:03-3238-9771 FAX:03-3288-2426

E-mail: kataru@japanriver.or.jp

【主催】公益社団法人 日本河川協会

【共催】大阪の河川を愛する会



河川 当講演会は、公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています